

事務事業チェックシート

事務事業No 504 事業名 スカイトウンつつじが丘形成事業（菜園整備）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	3	豊かな暮らしを支える住環境の整備
施策	1	居住環境の整備
取組方針	1	良好な居住環境の確保

事業種別	継続		
事業期間	H20 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	住宅政策課	大河内 孝則	435-1099
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		土木費	
	項		住宅費	
	目		住宅管理費	
	大事業		住宅管理事業	
中事業		スカイトウンつつじが丘形成事業		

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にするための事業か 本市の分譲地であるスカイトウンつつじが丘の土地を所有する者及び市民が自然に親しみ、相互に交流を広げる場を提供することにより、スカイトウンつつじが丘の付加価値を高め販売を促進することを目的とする。		全体事業概要 スカイトウンつつじが丘菜園をスカイトウンつつじが丘の土地を所有する者及び本市に住所を有する者に限り貸し付ける。 全39区画 貸付料 1区画あたり年額8,640円 既購入者 総区画数の3分の2以内（優先区画） 新規購入者 優先区画のうち2分の1以内（新規購入者枠） 募集方法 既購入者区画（自治会回覧で募集）、新規購入者区画（随時募集）、一般区画（市報で募集） 申込者数が募集区画数を上回った場合は、公開抽選 最長利用期間3年 維持管理 防草、進入路の維持管理等			
	事業内容	平成27年度 39区画の市民菜園をスカイトウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。 （貸出実績） 一般 13区画 既購入者 17区画 新規購入者 1区画	平成28年度 39区画の市民菜園をスカイトウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。 （貸出実績） 一般 15区画 既購入者 15区画 新規購入者 1区画	平成29年度 39区画の市民菜園をスカイトウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。 （貸出実績） 一般 17区画 既購入者 16区画 新規購入者 0区画	平成30年度 市民菜園付近の道路工事を予定しているため、市民菜園の貸し出しは一時中断するが、維持管理は行う。	平成31年度 39区画の市民菜園をスカイトウンつつじが丘の住民及び一般市民に貸し出し、その維持管理を行う。

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,129	137	1,150	146	1,133	145	443		1,133	
伸び率（%）	-	-	1.9%	6.6%	▲1.5%	▲0.7%	▲60.9%	▲100.0%	155.8%	-
人件費	正規職員	4,641	4,907	4,641	5,819	5,819	6,614	6,614	6,614	
	正規職員以外	703	775	703	631	589	435	435	435	
	小計	5,344	5,682	5,344	6,450	6,408	7,049	7,049	7,049	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	336	263	336	265	336	281	0		336	
一般財源（税等）	793	-126	814	-119	797	-136	443		797	
所要人数（人）	正規職員	0.62	0.64	0.62	0.73	0.73	0.83	0.83	0.83	
	正規職員以外	0.38	0.38	0.38	0.29	0.27	0.19	0.19	0.19	
主な予算内訳	管理委託料 443千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
菜園貸し出し件数	件	目標値	39	31	79.5%	39	0
		実績値	31	31	79.5%	33	39
		達成度(%)	79.5%	79.5%	84.6%		
分譲地販売区画数	件	目標値	10	14	140.0%	10	10
		実績値	14	11	110.0%	14	
		達成度(%)	140.0%	110.0%	140.0%		
成果指標		目標値					
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>平成29年度、39区画あるつつじが丘菜園は、既購入者枠16区画及び一般市民枠17区画の計33区画が利用された。つつじが丘住民及び地域住民が、自然とふれあい耕作する喜びを提供すること、また、新規分譲地購入の特典としての優先枠を設け販売を促進するという事業目的はおおむね達成されている。事業費については、菜園周辺の草刈等の管理費は毎年必要である。受益者負担については、借地料及び使用水道料金は周辺の貸し農地の状況や水道使用量から適正と考える。新規購入者区画の利用者が少なく、他の区画の需用が多いため、区画の割り振りを検討する必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>現状維持が妥当である。</p>